



まちがど トピックス



■プロ野球選手とともに過ごす、熱き2日間

7月20日、21日、富田林バッファローズスタジアムで、恒例の富田林ドリームフェスティバルが開催され、2日間にわたって熱戦が繰り広げられました。また、来場者と選手とがふれ合える各種イベントも開催され、「選手と一緒に！自然工作教室」では、選手と一緒に木の枝や葉っぱなどで自由に飾り付けた額縁をつくり、そこに選手がサインを入れた世界でただ一つの色紙を完成させました。参加した子どもたちは、選手とおしゃべりを楽しみながら、気さくな人柄にふれていました。



■明日の体が楽になるように

7月10日、大阪大谷大学で、あすラクからだ教室が実施されました。これは産官学医が連携し、ロコモティブシンドローム（加齢とともに筋肉や関節などに障がいが起こり、日常生活の動作に支障が出始めた状態。略称、ロコモ）を予防し、健康寿命を延ばしてもらおうと実施されたもの。参加者は、同大学の学生らから、ロコモ予防に効果的なストレッチや運動の方法を教えてください、真剣にロコモ予防に取り組んでいました。

■ベスレヘムからこんにちは

7月23日～8月12日、姉妹都市であるアメリカ合衆国ベスレヘム市から、交換学生3人が本市を訪れました。

25日には、市役所で市長に表敬訪問した後、寺内町を散策し、陶芸体験を楽しみました。

初めてふれる土の感触に悪戦苦闘しつつも、器やアクセサリーなどのデザインに漢字をあしらうなど、日本文化の吸収に余念がない様子でした。



写真とともに見る7月～8月のできごと



■夜空を彩る光の芸術

8月1日、毎年恒例のPL花火芸術が開催されました。

年に一度の夏の風物詩を楽しもうと訪れた観客らは、色とりどりに輝く花火に酔いしれていました。

フィナーレでは数えきれない花火が絶え間なく打ち上げられ、富田市の夜空が明るく照らされると、あちらこちらから歓声と拍手が湧き上がりました。

■アートを楽しもう

8月4日、すばるホールで、すばるキッズアートフェスティバル2019が開催されました。

当日は、コンサートや工作教室、子ども屋台などたくさんのイベントが用意され、多くの家族連れが訪れました。

子どもたちは、宇宙をテーマにした作品づくりに参加するなど、音楽やものづくりなどさまざまな芸術（アート）に挑戦し、楽しんでいました。



■ストップ！落書き！

8月6日、第三中学校の剣道部、サッカー部、バレーボール部に所属する生徒46人が、石川に架かる昭和橋の橋脚に書かれた落書きを、ブラシで一生懸命にこすってきれいになりました。

これは青少年の育成を目的とした取り組みとして実施されたもの。

参加した生徒たちは、「落書きを消すのはとても大変だったけど、きれいになった壁を見たら達成感があった」と笑顔を見せていました。

■全国大会で見事優勝

8月7日、2019春季全日本空手道選手権大会青少年組手中学3年男子軽量級に出場し、優勝された第二中学校3年生の千田 隼人さんが教育委員会顕彰受賞のため、市役所を訪れました。

部活や生徒会など学校でも大活躍の千田さんですが、昨年12月にはブルガリアで開催された世界大会にも出場し、第3位の成績を収められたそうで、「世界一をめざしたい」と語ってくれました。今後の活躍を期待しています。

